

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

**人に夢を。
地域に活力を。
ビジネスに未来を。**

**金沢美大の創造力を、
あなたの事業に
お役立てください。**

金沢美術工芸大学では、社会連携センターを拠点に、広く企業や研究機関・公共団体などの連携活動を推進しています。

**POLICY
理念**

金沢美術工芸大学は社会貢献を、教育と研究に並ぶ大学の使命と位置づけ、地域連携・産学連携を通して積極的に社会貢献を行います。

1. 本学の持つ美術工芸分野の専門知識や技術、社会連携で得られた成果を広く社会に還元します。
2. 地域の産業と積極的に連携を図り、地域社会の活性化に貢献します。
3. 社会との連携活動を体験することで、より実践的に社会に寄与できる人材を育成します。

**SYSTEM
活動体制**

テーマの規模や内容、状況に応じて、様々な研究方法・スタイルを準備しています。詳細はお問い合わせください。

研究制度

共同研究

企業や教育機関より研究者・研究経費等を受け入れ、共通の課題について対等な立場で研究を行う制度

受託研究

企業等から委託を受け、委託者の負担する経費で研究を行い、その成果を委託者に報告する制度

研究体制

プロジェクト型（課外活動型）

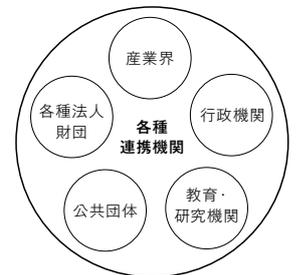
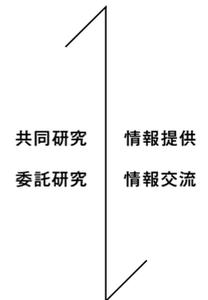
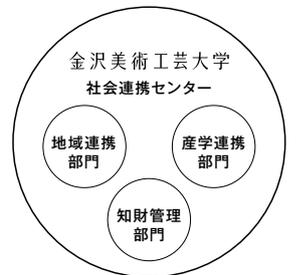
教員の指導により研究を推進。学生の新しい視点での発想、現実性の高い成果が期待できます。

プロフェッショナル型

教員との研究。ハイレベルで実践的な研究成果が期待できます。

**NETWORK
社会連携**

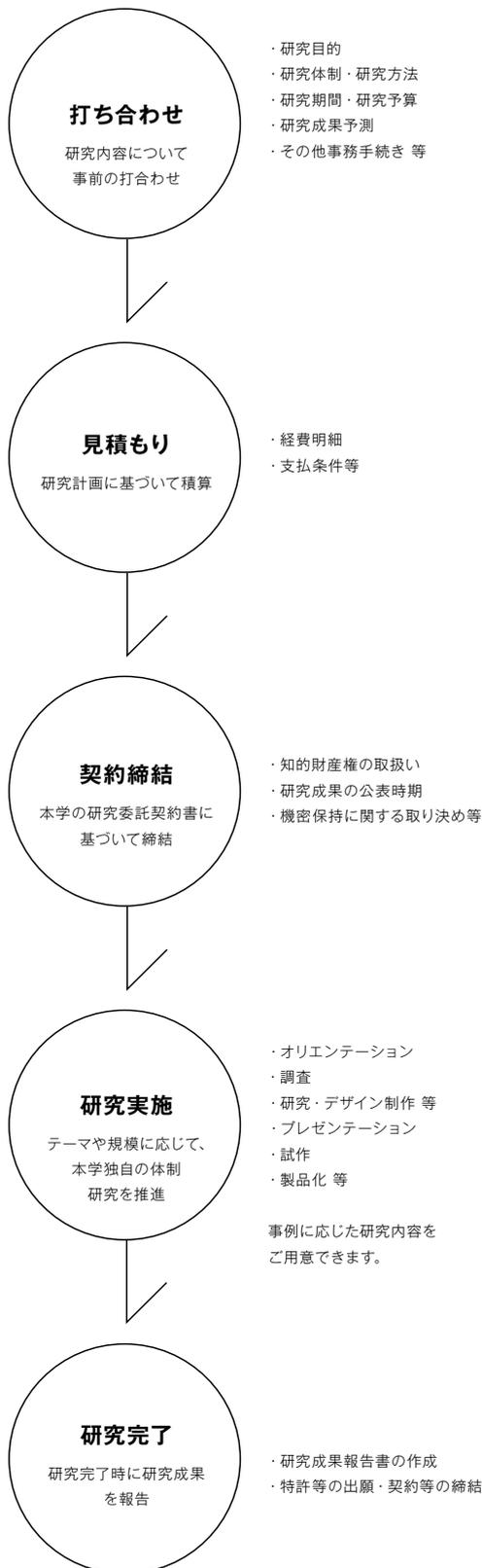
他大学・研究機関とのパートナーシップを深め、実現性の高いハイクラスの研究を推進します。



FLOW 活動の流れ

以下のような、求められる課題や相談に対し、よりよき成果をめざして、確かな体制と綿密プロセスをベースに研究を進めています。

- 商品の企画・開発にデザインを利用したい
- CI・ブランド開発にデザインを活用したい
- マーケティングにデザインを活用したい
- 店舗・施設の開発にデザインを活用したい
- 伝統工芸の専門技術を商品開発に活用したい
- 美術（芸術）分野の専門知識を商品開発に活用したい



FIELD 活動領域

美術・工芸・デザインから芸術学まで、本学に蓄積された有形無形の資産をベースに、気鋭のプロフェッショナル達がハイレベルの研究活動を推進します。

本学の教員は、それぞれが独立したプロの作家、デザイナー、研究者です。活躍する分野はもちろん、年齢、経歴、ネットワークも様々な人材が、才能にあふれる学生たちとともに連携事業の研究活動を推進します。

美術系

日本画 / 油画 / 彫刻 / 芸術学

デザイン系

視覚デザイン / 製品デザイン / 環境デザイン / ファッションデザイン

工芸系

陶磁 / 漆・木工 / 鋳金・彫鍛金 / 染・織

専門領域分野

ヴィジュアルコミュニケーション
 広告デザイン
 サインデザイン
 映像・メディアデザイン
 Web デザイン
 パッケージデザイン
 ユニバーサルデザイン
 インターフェイスデザイン
 情報機器デザイン
 輸送機器デザイン
 家具デザイン
 生活関連用品デザイン
 都市計画デザイン
 建築デザイン
 インテリアデザイン
 ディスプレイデザイン
 ランドスケープデザイン
 ファッションデザイン
 テキスタイルデザイン
 陶芸
 漆芸
 木工
 彫鍛金
 鋳金
 染織
 モニュメント
 壁画
 材料・修復

過去5年間の社会連携研究数

年度	総数	地域連携事業	産学連携事業	連携協定事業
2012 (H24)	31	17	14	
2013 (H25)	49	32	17	
2014 (H26)	46	27	19	
2015 (H27)	34	18	16	
2016 (H28)	34	16	11	7
2017 (H29)	33	11	16	6
計	227	121	93	13

※報告書掲載数は複数年に渡る事業も含む。

096 >> 106

096	金沢マラソン 2017 完走メダルデザイン制作	6
097	湯涌温泉開湯 1300 年ラッピングバスデザイン提案	7
098	ホスピタリティ・ライブラリープロジェクト 図書館で過ごす時間を豊かにする椅子Ⅱ ～金沢海みらい図書館を舞台に考察～	8
099	JAPAN テント 30 周年記念 T シャツ基本デザイン制作	9
100	ホスピタリティアート・プロジェクト 第 22 回 光の回廊シリーズ (その 9) 「くまさんの夏休み」ワークショップ・作品展示	10
101	ホスピタリティアート・プロジェクト 第 23 回 第 6 回ホスピタル・ギャラリー — 病院が美術館になる日「安らぎのいろ・かたち・味わい」—	11
102	金沢市観光ポスター制作	12
103	「金沢の食の名工」映像制作	13
104	IT ビジネスプラザ武蔵サロン展示	14
105	まちかど思い出ピアノのデザイン制作	15
106	金沢市立安江金箔工芸館 ウインドウディスプレイを充実させるためのデザイン提案	16

096

金沢マラソン 2017 完走メダルデザイン制作

第3回金沢マラソン2017は2017年10月29日、あいにくの雨模様の天候の中、13,975名のランナーが全国各地や海外から訪れ、金沢の街を疾走した。その完走者に贈る完走メダルのデザインを、過去2大会に引き続きデザイン提案させていただいた。

完走メダルは、金沢らしいオリジナリティあるデザインが求められ、第1回、2回と好評であったデザインに並ぶ新たな表現というハードルの高いミッションで挑んだメダルデザインには、製品デザイン専攻の11名の学生が参加し今年もすばらしい案が数多く提案された。その中から組織委員会により5案が選定され、作者自身により制作された実物大のモデルとプレゼンテーションの結果、最終的に都筑亮志君の作品が採用された。

金箔の街、金沢ならではの上品な「金」を主体に、伝統工芸の「加賀手まり」をモチーフにした繊細で緻密な美しい模様の表現と、縁起の良い赤色とかわいらしさの演出で、金沢らしさ溢れる大変質の高い仕上がりととなった。完走率95.4%、13,334人の完走したランナーに手渡され、大変好評であった。



アイデア発表会



最終5案のモデル

【委託者】
金沢市 市民局 マラソン推進課

【期間】
2017年2月～10月

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

大石 まなみ	製品デザイン専攻3年
都筑 亮志	製品デザイン専攻3年
西村 正之	製品デザイン専攻3年
林 恒太郎	製品デザイン専攻3年
藤川 紘生	製品デザイン専攻3年
北條 英	製品デザイン専攻3年
堀 美未湖	製品デザイン専攻3年
松村 圭介	製品デザイン専攻3年
森 琴音	製品デザイン専攻3年
山村 有史	製品デザイン専攻3年
吉戸 妙織	製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2017年

2月21日	オリエンテーション 概要、デザイン条件等説明
4月20日	アイデアミーティング
4月28日	アイデア発表会
5月12日	アイデア選考 5案に絞る
6月20日	アイデアプレゼンテーション PPTとモデルで コンセプト説明
6月23日	最終案の決定報告
8月29日	市長への試作品完成報告
9月～10月	量産、デザインフォロー
10月29日	マラソン大会開催 13,334人の完走者に配布



デザインを手がけた都筑亮志君
(市長への完成報告会)



最終選考に残った他メンバーにも感謝状が贈られました。

097

湯涌温泉開湯 1300 年 ラッピングバスデザイン提案

湯涌温泉観光協会より、湯涌温泉開湯 1300 年をアピールするラッピングバスのデザインを依頼され、早稲田大学法学部西口教授ゼミが考案した「愛わく、ゆわく。」のキャッチコピーを側面に配置し、温泉の湯気や浅野川を表現した曲線に、加賀五彩の色合いを組み合わせたデザイン案が採用された。完成後は、湯涌温泉の魅力を観光客や市民のみなさんにアピールするため、金沢市内中心部を経由する路線を走っている。



【委託者】

湯涌温泉観光協会

【期間】

2017 年 4 月—7 月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

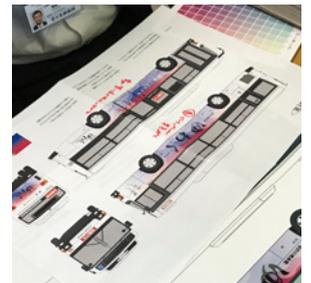
【参加学生】

芦田 佳子 視覚デザイン専攻 4 年
島田 彩 視覚デザイン専攻 4 年
柴田 竜 視覚デザイン専攻 4 年
名越 菜由花 視覚デザイン専攻 4 年

【開発日程】

2017 年

4 月 オリエンテーション
5 月 デザイン案検討、
最終案決定
6 月—7 月 デザイン案修正作業、
ラッピング製作



ラッピング施工調整

098

ホスピタリティ・ライブラリープロジェクト 図書館で過ごす時間を豊かにする椅子II ～金沢海みらい図書館を舞台に考察～

「図書館で過ごす時間を豊かにする椅子」をテーマに金沢海みらい図書館を舞台に椅子のデザインに取り組んだ。現地視察と来館者や職員にヒアリング調査を行ない、コンセプト立案からデザイン考案、プロトタイプ制作を行ない、オリジナリティー溢れる18脚の椅子を提案した。これらの椅子は、読書が持つ人間の内面に働きかけストレスや不安を軽減する効果を生かし「健康で健全な気持ちを保つ」ことが考慮されている。また、機能性だけでなく、形、色、サイズなども工夫されており読書の時間を楽しませてくれる。展示会初日は、公開プレゼンテーションを行い大きな反響を得た。また、展示期間中には多くの来館者に座ってもらい、約200名の人からアンケート調査や人気投票を実施することができた。

結果、今年はロッキングチェアや自由な姿勢で本が読める椅子の人気の高かった。また、建築のエコロジカルな思想を取り入れたシンプルながら座面や背が内部のウェビングベルトの効果でホールド性を高めた椅子も人気があった。一方、複数人で使える椅子は読書シーンの可能性を広げる展開を見せ人気も高かった。今回も新たなリラクゼーションを感じさせる「もてなし」の椅子が提案できたと思う。



人気投票結果：左上1位、右上2位、左下3位、右下4位



現地視察&アンケート調査の様子



中間プレゼンテーションの様子

【委託者】

金沢海みらい図書館

【期間】

2017年6月～10月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

根来 貴成 准教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

大石 まなみ	製品デザイン専攻3年
大橋 康平	製品デザイン専攻3年
小島 弘高	製品デザイン専攻3年
田中 伶実	製品デザイン専攻3年
都筑 亮志	製品デザイン専攻3年
當宮 楽捺	製品デザイン専攻3年
西村 正之	製品デザイン専攻3年
橋川 裕貴	製品デザイン専攻3年
林 恒太郎	製品デザイン専攻3年
福田 理紗	製品デザイン専攻3年
藤川 紘生	製品デザイン専攻3年
北條 英	製品デザイン専攻3年
堀 美末湖	製品デザイン専攻3年
松村 圭介	製品デザイン専攻3年
森 琴音	製品デザイン専攻3年
山村 有史	製品デザイン専攻3年
吉戸 妙織	製品デザイン専攻3年
陳 雨洲	製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2017年

6月8日	オリエンテーション
6月9日	金沢海みらい図書館 現地視察 図書館利用者への アンケート調査
6月21日	中間プレゼンテーション 図書館関係者からの アドバイス
7月3日	椅子の1/1プロトタイプ 制作開始
8月4日	椅子の1/1プロトタイプ 完成
9月24日	現地での 公開プレゼンテーション
9月24日～10月10日	現地での展示



制作風景 塗装をしている様子



公開プレゼンテーションの様子

099

8月17日から23日まで開催された「第30回記念 JAPAN TENT—世界留學学生交流・いしかわ2017」で、参加者が着用したTシャツの基本デザイン制作をおこなった。

加賀手まりの模様が糸を一針一針縫ってつながっていくように、参加留学生とホストファミリーとの出会いとつながりをイメージした。

参加留学生はオレンジ、ホストファミリーは水色のTシャツで展開した。

JAPAN TENT 30周年記念 Tシャツ 基本デザイン制作



前期展示

【委託者】

株式会社 北國新聞社

【期間】

2017年6月—9月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

江野 焯陽子 視覚デザイン専攻4年

小浜 晶子 視覚デザイン専攻4年

山本 晴香 視覚デザイン専攻4年

【開発日程】

2017年

6月初旬 オリエンテーション

6月中旬 デザイン案検討

6月下旬 デザイン案提案

7月初旬 最終デザイン案決定、
Tシャツ製作



金沢市内のホテルにて、笑顔で語り合う留学生とホストファミリー



北國新聞赤羽ホールにて、オリエンテーションを待つ留学生

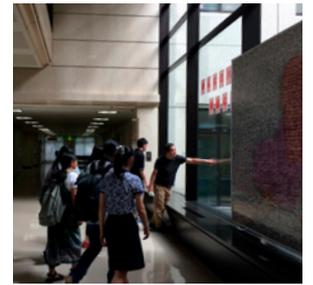
100

ホスピタリティアート・プロジェクト 第22回 光の回廊シリーズ(その9) 「くまさんの夏休み」ワークショップ・作品展示

金沢市立病院と金沢美術工芸大学との連携により、医療分野におけるアートの潜在的な可能性を探索する事を目的とした「ホスピタリティアート・プロジェクト」第22回企画として、今年度の「光の回廊シリーズ~その9」ワークショップ・展示は、「くまさんの夏休み」と題し実施された。病院1階待合ホール大ガラスに患者、医療者、学生の協働によりステンドグラス風の装飾を施されるこのワークショップ・展示企画は、病院の恒例行事として病院関係者および周辺地域に受け入れられている。図案会議に始まり、大学での下準備、ワークショップ、展示、撤収に至るまでを無事に終えることができた。今年度はフランス・ナンシー市からのインターンシップ生2名がワークショップに加わり、学生や市民との交流がみられた。このプロジェクトは医療環境に彩りの空間を現出させ、通院・入院患者、医療関係者の日常に癒しの効果を与えているが、重要なことは、ワークショップにより患者、医療関係者、協力学生が同じ視点で時間を共有することで現出するコミュニケーションの有り様である。プロジェクトを成功裏に終えることができた要因は、本学と市立病院との連携もさることながら、協力学生の献身的な作業に依るところが大きい。ボランティアとして労を惜しまず作業に携わる彼等の姿を見て、この活動を美大の美術教育に具体的に還元させる必要を感じている。



光の回廊



会場下見



セロファンパーツ制作

【委託者】

金沢市立病院

【期間】

ワークショップ

2017年8月22日 13:00 - 16:00

館内展示

2017年8月22日 - 9月14日

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

三浦 賢治 教授 美術科油画専攻
ホスピタリティアート・コーディネーター

岩崎 純 准教授 美術科油画専攻

横川 善正 名誉教授
金沢市立病院
ホスピタリティアート・プロジェクト顧問

【参加学生】

石田 彩夏 油画専攻1年
犬飼 好美 油画専攻1年
合田 果帆 油画専攻1年
小作井 あかね 油画専攻1年
遠矢 実樹 油画専攻1年
山田 美智子 油画専攻1年
渡邊 春佳 油画専攻1年
沖籠 佳奈 日本画専攻1年
中井 詩織 日本画専攻1年
秋山 雅貴 油画専攻2年
伊藤 真里奈 油画専攻2年
塚原 由子 油画専攻2年
南 唯乃 油画専攻2年
棚部 芹 油画専攻3年
塚田 華都耕 油画専攻3年
角田 優美 油画専攻3年
升澤 春奈 油画専攻3年
四本 優南 油画専攻3年
平山 森 油画専攻4年
古中 雄二 油画専攻4年
山本 武明 修士課程絵画専攻
油画コース2年

ヴィルジニー・シュルツ
フランス・ナンシー市
インターンシップ生

アメリー・ティスラン
フランス・ナンシー市
インターンシップ生

【開発日程】

2017年

6月19日 第1回企画会議
6月30日 第2回企画会議
7月6日 市立病院下見
7月21日 第3回企画会議(テーマ会議)
7月21日 材料確認、発注
8月10日 「HAP Tシャツ」完成、図案決定
8月14日-18日 大学での制作、下準備(ワークショップ材料・セロファンパーツ)
8月中旬 市の広報にお知らせ(市立病院発信)
8月18日 脚立、足場、コンパネ等の資材を病院に搬入
8月20日 9:45-17:00 市立病院に集合、ガラスシート張り替え、カラーセロファンによる大ガラスの装飾開始
8月21日 9:30-17:00 ステンドグラス制作
8月22日 9:30-17:00 ステンドグラス制作 13:00-16:00 ワークショップを経て完成
9月14日 15:00 - 撤収(セロファン剥がし、資材搬出)



ワークショップ



病院での制作

101

ホスピタリティアート・プロジェクト 第23回 第6回ホスピタル・ギャラリー — 病院が美術館になる日「安らぎのいろ・かたち・味わい」 —



【委託者】
金沢市立病院

【期間】
ギャラリー開催
2017年9月16日—18日
9:30—17:00
ホスピタル・ギャラリートーク
9月18日 15:30—17:00

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
三浦 賢治 教授 美術科油画専攻
ホスピタリティアート・コーディネーター
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻
横川 善正 名誉教授
金沢市立病院
ホスピタリティアート・プロジェクト顧問

【参加学生】
ポスター、DM、フライヤー制作
伊藤 真里奈 油画専攻2年

設営
石田 彩夏 油画専攻1年
犬飼 好美 油画専攻1年
遠矢 実樹 油画専攻1年
伊藤 真里奈 油画専攻2年
南 唯乃 油画専攻2年
棚部 芹 油画専攻3年
四本 優南 油画専攻3年
古中 雄二 油画専攻4年
坪井 一 油画専攻4年

撤収
小佐井 あかね 油画専攻1年
遠矢 実樹 油画専攻1年
中井 詩織 日本画専攻1年
伊藤 真里奈 油画専攻2年
角田 優美 油画専攻3年

ギャラリートーク
山岸 耕輔 油画専攻4年

平成21年度より金沢市立病院と金沢美術工芸大学との連携のもと取り組んできたホスピタリティアート・プロジェクト(HAP)の一環として、病院がより市民の方々に身近な施設となるための「市民がつくる安らぎの医療」をメインテーマに、平成24年度よりホスピタル・ギャラリーを開催している。第6回となる本展においても、市民、患者、看護師、登録医、介護施設などから募り、作品募集テーマ「安らぎのいろ・かたち・味わい」の趣旨に賛同して集まった絵画、彫刻、書、手芸、工芸等の175点の作品群によって、病院の待合いホールには3日間限定の美術館とも言える展示空間が創出された。最終日には市民アドバイザーや出品者によるギャラリートークも行われ、中秋の市立病院待合ホールには和やかなコミュニケーション空間が紡ぎ出された。

市の中心から離れた病院という特殊な地理的環境にありながら、3日間の会期中1,200人を超える来場者を数え、このギャラリーが地域社会に受け入れられていることを実感している。美大関係者のみならず、病院の医師、看護師も一体となって展覧会の運営に積極的に携わる点において、全国的に見ても希な取り組みであると言える。



図案会議



会場風景

金沢市立病院スタッフ
ホスピタリティアート・プロジェクトメンバー

院長	高田 重男
副院長	横川 由起子
小児科	瀬野 晶子
循環器内科	小見 亘
消化器内科	辻 宏和
看護部	中町 麻紀子 京堂 舞 合田 祐末 水上 慎也 中村 理沙子 今度 舞華 坂不田 照美 坂尻 裕子 東 佳代
放射線室	安土 佳宏
リハビリテーション室	中島 孝
臨床検査室	大島 有加
薬剤室	小路 晃平
事務局	岩井 隆之 大和 裕紀
市民アドバイザー	富地 晃裕 野川 勝紀

ギャラリートーク担当
駒井 順子 石川県済生会金沢病院
ホスピタルアート・コーディネーター

【開発日程】

2017年

5月22日 第1回ホスピタリティアートプロジェクト合同会議

6月28日 第2回ホスピタリティアートプロジェクト合同会議

7月3日 ポスター、作品募集要項、DM入稿

7月11日 ポスター、DM、作品募集要項納品

7月14日—8月18日 作品募集、申し込み

8月4日 展覧会フライヤー入荷

9月4日—4日 作品搬入、受付

9月12日・13日 ギャラリー開催案内(新聞広報、記事提供、FB)

9月15日 設営、展示作業、展覧会目録入荷

9月16日—18日 ギャラリー開催

9月18日 撤収、作品返却



会場風景



ギャラリートーク

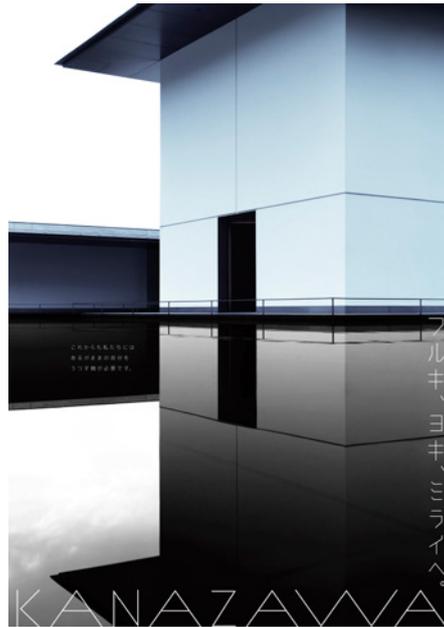
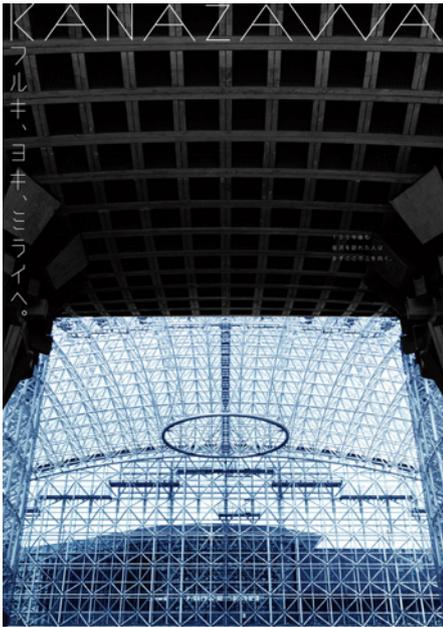
102

「古」「新」の美しい掛け合わせを表現する、新しいコンセプトとなるデザインポスターを、海外からも評価が高い建築物であり、金沢の玄関口である金沢駅「鼓門・もてなしドーム」と、建築家・谷口吉生氏が手がけた「鈴木大拙館」の2種類制作しました。

国内外の旅行博や観光キャンペーンで掲示することで、金沢の更なる魅力を発信し、観光誘客の推進に繋がります。

第66回日本観光ポスターコンクール・グランプリ(国土交通大臣賞)受賞および、今年度から設定されたインバウンド賞を受賞。

金沢市観光ポスター制作



【委託者】

金沢市 経済局 営業戦略部
観光政策課 観光係

【期間】

2017年4月～9月
日本国内及びローマ、台湾での展示会等でも掲出

【研究体制】

プロフェッショナル型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加者】

視覚デザイン卒業生チーム

【開発日程】

2017年

- 4月 オリエンテーション
- 5月～7月 コピー及びデザイン案検討
- 8月 コピー及びデザイン案最終案決定、撮影、デザイン制作
- 9月 海外イベント及び東日本エリアのJR主要駅で掲出

103

食文化の技と伝承と、国内外からの誘客推進を図るため、冬の金沢の料亭を舞台に、和食料理人と和菓子職人の名工による調理工程等を、職人の手元にフォーカスし、カニを手際よくさばく様子や雪吊りに見立てたお菓子の色付けなど、地元食材を最高の「食」へ昇華させる名工技術の一端を紹介するプロモーション映像を制作した。

プロモーション映像

URL : <https://www.youtube.com/watch?v=UULWujGj6bY>

「金沢の食の名工」映像制作



[委託者]
金沢市役所 経済局 商業振興課

[期間]
2017年7月 - 2018年3月

[研究体制]
プロジェクト型

[担当教員]
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

[参加学生]
島田 彩 視覚デザイン専攻4年
松波 里奈 視覚デザイン専攻4年

[映像制作協力]
株式会社フィックス

[開発日程]

2017年
7月 - 12月 企画提案、ラフ映像制作

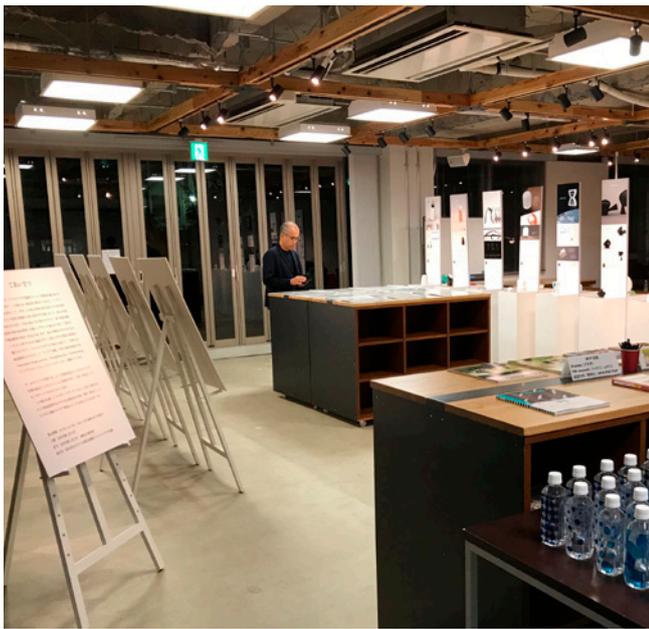
2018年
1月 現場ロケハン
2月 現場撮影、YouTubeにて先行公開
3月 食文化推進委員会にて報告

104

金沢市のつくり産業支援課からの依頼で10月～12月の期間でITビジネスプラザ武蔵4Fサロンにて展示とトークイベントを行った。

この展示は、新産業の創出に繋がる「アイデア」の提供を目的としています。展示とトークイベントは3回行った。第一回「眠りのデザイン」展はデザインのアイデア発想とデザイン思考についてのお話。第二回「サービスデザイン」展は三澤直加氏を招いて「サービスデザイン」の基礎と活用法のお話。第三回は「IoTのつくり方」展は+Style(ソフトバンク)の近藤正充氏とデザイナーの倉本仁氏、鈴木啓太氏、北川大輔氏を招いてデザイナーならではの思考と取り組みでIoT商品をどのように開発したかを展示とトークイベントで知っていただいた。

ITビジネスプラザ武蔵サロン展示



「IoTのつくり方」パネルディスカッション



「眠りのデザイン」展示風景

【委託者】

ITビジネスプラザ武蔵
交流・創造推進事業運営委員会

【期間】

「眠りのデザイン」展 & トークイベント
2017年10月11日～18日
「サービスデザイン」展 & トークイベント
2017年11月8日～15日
「IoTのつくり方」展 & トークイベント
2017年12月15日～22日

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

河崎 圭吾 教授 デザイン科製品デザイン専攻
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻
北村 賢哉 准教授 デザイン科環境デザイン専攻
稲垣 健志 講師 一般教育等

【参加学生】

「眠りのデザイン」展&トークイベント

浮洲 直秀	乙部 那未	川村 美月
後藤 はなこ	坂上 立朗	重松 将太
高田 えみ	高橋 大生	竹本 頌梧
田中 夢大	中村 有希	瀧野 青空
番匠 香純	平田 陸	藤島 佳那子
細川 岳	松本 姫佳	宮島 望
山口 未森	山本 恵	

以上 製品デザイン専攻2年

【参加学生】

「サービスデザイン」展&トークイベント

浮洲 直秀	乙部 那未	川村 美月
後藤 はなこ	坂上 立朗	重松 将太
高田 えみ	高橋 大生	竹本 頌梧
田中 夢大	中村 有希	瀧野 青空
番匠 香純	平田 陸	藤島 佳那子
細川 岳	松本 姫佳	宮島 望
山口 未森	山本 恵	

以上 製品デザイン専攻2年

石田 文音	井原 幹人	梅野 恵
占部 愛英	大賀 愛子	大坂 楓恋
岡川 由依	河崎 ひかり	兒島 祐衣
小森 晴香	佐々木 琴音	佐藤 桃子
塩木 亜弥	竹内 彰太郎	坪田 成未
新田川 大樹	久井 沙恵	水野 理沙
三好 冬悟	若尾 陸利	

以上 視覚デザイン専攻2年

小野 裕美	加藤 こころ	神林 優志
紺谷 侑未	地金 育美	龍野 朝子
田中 夏実	谷 一輝	寺山 桃可
徳田 好美	成川 就一	箱木 鞠音
原山 涼奏	日高 史央里	藤原 なつき
三谷 清香	森 真衣子	山口 日南乃
山本 菜央	頼安 礼市	

以上 環境デザイン専攻2年

「IoTのつくり方」展&トークイベント

大石 まなみ	大橋 康平	田中 伶実
陳 雨洲	都筑 堯志	當宮 楽捺
西村 正之	福田 理紗	北條 英
堀美 未湖	松村 圭介	森 琴音
山村 有史	吉戸 妙織	

以上 製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2017年

10月11日～18日
「眠りのデザイン」展 & トークイベント

11月8日～15日
「サービスデザイン」展 & トークイベント

12月15日～22日
「IoTのつくり方」展 & トークイベント



「眠りのデザイン」展示風景



「サービスデザイン」展示風景

105

公共空間や街角にピアノを置き、誰でも自由に弾いてもらうストリートピアノとして使用するため、金沢市内の小学校で長年使用され廃棄予定となっていたグランドピアノ2台にデザインを施し、思い出ピアノとして蘇らせるためデザイン制作を依頼された。

片町きらら広場に音符に見立てた大小の花びらを描いた1台、金沢駅もてなしドーム地下広場には伝統工芸の水引と五線譜を組合わせた1台を設置した。いずれも側面に「思い出ピアノ」と表示し、金沢を訪れた外国人の方々にも触れてもらうために「思い出」を意味する英語、韓国語、フランス語などの単語をレイアウトした。

まちかど思い出ピアノのデザイン制作



金沢駅もてなしドーム地下広場



【委託者】

金沢市 文化政策課

【期間】

2017年7月—10月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

向 幸菜 視覚デザイン専攻4年
河番 ひかり 視覚デザイン専攻2年
児島 祐衣 視覚デザイン専攻2年

【開発日程】

2017年

7月 オリエンテーション
8月 ピアノ探寸、デザイン案検討
9月 最終案決定、製作
10月 思い出ピアノ完成

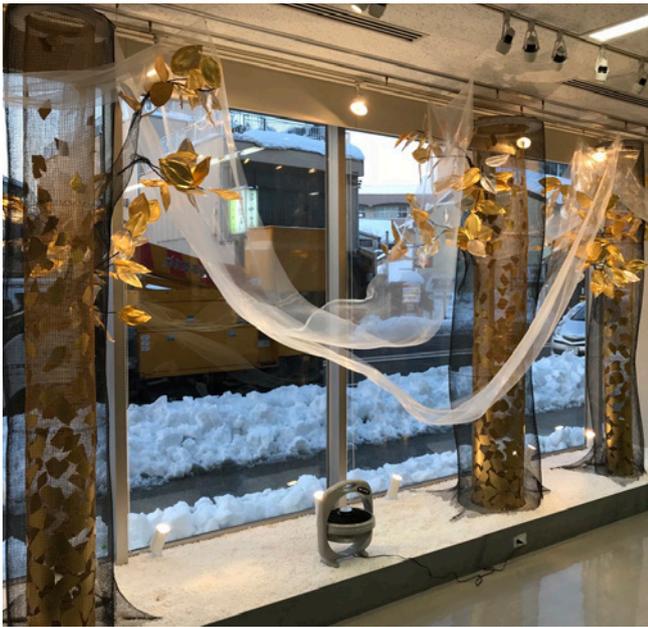


片町きららでのオープニングセレモニー

106

金沢市立安江金箔工芸館 ウインドウディスプレイを充実させるための デザイン提案

金箔技術振興研究所は、金沢市立安江金箔工芸館を活用した平成28年度金箔振興普及事業の一環として、同館の1階多目的ルームにおけるウインドウディスプレイのリニューアルを実施した。平成29年度は、アイキャッチ機能をさらに強化するために、ウインドウディスプレイを充実させるためのデザイン提案を研究委託し、より多くの市民や観光客に、同館に足を運んでもらうことで、金箔の普及・振興に繋げることを目的とする。



制作風景



プレゼンテーション

[委託者]

金箔技術振興研究所

[期間]

2017年7月 - 2018年3月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

畝野 裕司 教授 デザイン科環境デザイン専攻

[参加学生]

長谷川 晶子 環境デザイン専攻3年
宮本 夏帆 環境デザイン専攻3年

[開発日程]

2017年

- 7月10日 第1回スタッフミーティング (オリエンテーション)
- 8月1日 第2回スタッフミーティング
- 9月7日 第3回スタッフミーティング
- 10月16日 第4回スタッフミーティング
- 11月13日 第5回スタッフミーティング
- 12月1日 第6回スタッフミーティング
- 12月27日 学内にて施工内容確認打ち合わせ

2018年

- 1月9日 中間プレゼンテーション
- 1月22日 ラビッドデザイン現地確認
- 2月13日 動作検証の現地打ち合わせ
- 3月5日 金箔加工ワークショップ
- 3月11日 最終プレゼンテーション



プレゼンテーション

098 >> 113

098	次世代の暮らしに沿った機能美を感じるドアデザイン提案	18
099	新しい価値を持ったメガネフレームのデザイン研究 美大メガネ部活動としての連携事業	19
100	建築3次元 CAD (建築設計向けソフトウェア) 用 ロゴマークデザイン開発	20
101	ユニバーサルデザインを使った観光案内ツールの開発	21
102	企業とプロのデザイナーを交えた新しい授業の枠組みによる IoT 商品開発研究	22
103	未来の車両内装 (センターゾーン) から考える新アイテムの提案	23
104	バスシート生地用テキスタイルデザイン開発	24
105	小松精練バスシートカタログデザイン制作	25
106	石川テレビキャラクター制作	26
107	SNS を活用したハロウィンイベント空間と ワークショップのデザイン研究	27
108	香林坊東急スクエアにおける駐輪スペースの研究	28
109	かなざわエコフェスタ 2017 出展	29
110	卒業制作作品「施設向け歩行車 Snuggle」の製品化	30
111	ANA クラウンプラザホテル金沢 クリスマスオーナメント制作	31
112	「AEON MALL ART SCENE 見る名画 感じるアート 楽しむ美術展」の空間表現研究	32
113	有機 EL 照明パネルを使用した ポータブルライティングのデザイン研究	33

098

次世代の暮らしに沿った
機能美を感じるドアデザイン提案

実寸大モデルプレゼンテーション

【委託者】

大建工業株式会社

【期間】

2017年5月～12月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

北村 賢哉 准教授 デザイン科環境デザイン専攻

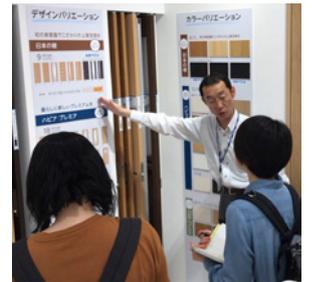
【参加学生】

稲手 広子 環境デザイン専攻3年
北川 真由香 環境デザイン専攻3年
古山 千穂 環境デザイン専攻3年
三宅 亜里彩 環境デザイン専攻3年

多様な暮らし方を適えるシェアハウスやリノベーション住宅が活発化している。また、家とスマートフォンがネットワークでつながり、暮らしのサポートをしてくれる時代もやってきた。これからはドアの在り方も暮らしの変化に伴って新たな役割や機能を果たさねばならない。

今回、多くのリサーチや体験から次世代の暮らし方のシーンを想像し、その空間に必要なドアの在り方を提案した。その後、インハウスデザイナーとの緊密なコラボレーションを経て4案に絞り、最終的に実寸大モデルにアイデアを定着させた。今後は提案したデザインが製品化に向け社内で検討が進められる予定である。

学内の課題制作では縮尺模型やCGで止まってしまうことが多い学生達にとって、緻密なエンジニアリングを伴う実寸大モックアップの制作体験は貴重な機会となった。



TDY 金沢ショールーム見学会



アイデア中間検討会①方向性確認

【開発日程】

2017年

5月30日 TDY 金沢ショールーム見学会
5月31日 大建工業井波工場見学会
キックオフミーティング
7月7日 アイデア中間検討会①
学内で方向性の確認
8月25日 ジャパン建材展見学
(東京ビックサイト)
9月6日 アイデア中間検討会②
アウトプットの確認(東京)
10月24日 学内最終プレゼンテーション
12月13日 実寸大モデルプレゼンテーション



アイデア中間検討会②アウトプットの確認



学内最終プレゼンテーション

099

新しい価値を持ったメガネフレームのデザイン研究 美大メガネ部活動としての連携事業

福井県眼鏡協会との産学連携は今年で17年目。他大学では類を見ない学生主体の「メガネ部」部活動としての受け入れ体制で情報の引き継ぎによりノウハウの蓄積があり、上級生から下級生への専門的なデザイン技術指導もしっかり整えられており、年々研究が深まっている。

本年度は最大限産地の活性化と商品化を目指し、リアリティある提案を前提に、2017年度のテーマを「自分のかけたいメガネ」と定め、1年生から4年生の混合4チームで取り組んだ。チームは、「可愛い班」「格好いい班」「美しい班」「楽しい班」でそれぞれのキーワードから新しいコンセプトのアイディアを検討した。34名の学生が各自アイディアのブラッシュアップを重ね、3D表現とモデル制作で検証し、最終プレゼンテーションを行った。また、メガネフレーム以外のプロダクトアイテムもそれぞれのチームから提案した。例年に勝るクオリティの高い提案となり、現在数案が商品化に向けた設計試作が進められている。



LOFT 展示 (東京ビックサイト)



メガネメッセ・フェス視察



アイディア発表検討会

【委託者】

一般社団法人 福井県眼鏡協会

【期間】

2017年5月—2018年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

メガネ部部長：
大石 まなみ 製品デザイン専攻3年
メガネ部副部長：
森 琴音 製品デザイン専攻3年

可愛い班

リーダー：大石 まなみ 製品デザイン専攻3年
メンバー：北條 英 製品デザイン専攻3年
川村 美月 製品デザイン専攻2年
松本 姫佳 製品デザイン専攻2年
澤本 泉美 製品デザイン専攻1年
篠崎 翔平 製品デザイン専攻1年
野副 双葉 製品デザイン専攻1年

格好いい班

リーダー：都筑 亮志 製品デザイン専攻3年
メンバー：藤川 敏生 製品デザイン専攻3年
坂上 立朗 製品デザイン専攻2年
平田 陸 製品デザイン専攻2年
笹井 陸 製品デザイン専攻1年
杉田 尚弥 製品デザイン専攻1年
中園 悠佳 製品デザイン専攻1年
安武 詩織 製品デザイン専攻1年
吉武 信太郎 製品デザイン専攻1年
松島 望 工芸科1年

美しい班

リーダー：吉戸 妙織 製品デザイン専攻3年
メンバー：松村 圭介 製品デザイン専攻3年
乙部 那未 製品デザイン専攻2年
細川 岳 製品デザイン専攻2年
上山 夏樹 製品デザイン専攻1年
桑嶋 達彦 製品デザイン専攻1年
堀口 真緒 製品デザイン専攻1年
水野 和馬 製品デザイン専攻1年

楽しい班

リーダー：森 琴音 製品デザイン専攻3年
メンバー：福田 理紗 製品デザイン専攻3年
西村 正之 製品デザイン専攻3年
高田 えみ 製品デザイン専攻2年
山本 恵 製品デザイン専攻2年
菅沼 佑哉 製品デザイン専攻1年
高田 梨央 製品デザイン専攻1年
富田 文香 製品デザイン専攻1年
平井 美帆 製品デザイン専攻1年

【開発日程】

2017年

6月10日 メガネフェス 視察
学生20名、教員1名
6月22日 オリエンテーション
テーマコンセプト発表
7月10日 学内アイディア中間発表
アイディアブラッシュアップ
8月8日 シャルマン工場見学
デザイナーとの意見交換
9月29日 最終プレゼンテーション

10月11日—13日
LOFT 展示・視察

11月3日—5日
美大祭展示

2018年

2月 報告書作成



シャルマン工場見学
デザイナーとの意見交換



最終プレゼンテーション

金沢に本社を置き、ソフトウェアの開発・販売を手がけるシーピーユーが11年ぶりに一新する主力の建築3次元CADシステムの新製品プロジェクトに、金沢美術工芸大学デザイン科3年の学生3人が参加。同社の社員と一緒にネーミングの検討とロゴマークの制作を行った。

「madric A's」のロゴは、特徴の一つである生産性向上を感じられるように、スピード感と柔軟さを表現することをポイントにデザインした。

建築3次元CAD（建築設計向けソフトウェア）用 ロゴマークデザイン開発

madric **A's**

完成したロゴマークデザイン



デザイン詳細修正打ち合わせ



デザイン詳細修正打ち合わせ

【委託者】

株式会社シーピーユー

【期間】

2017年1月～9月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

坂本 英之 教授 デザイン科環境デザイン専攻
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻
畝野 裕司 教授 主担当
デザイン科環境デザイン専攻

【参加学生】

稲手 広子 環境デザイン専攻3年
大山 るり葉 環境デザイン専攻3年
宮本 夏帆 環境デザイン専攻3年

【開発日程】

2017年

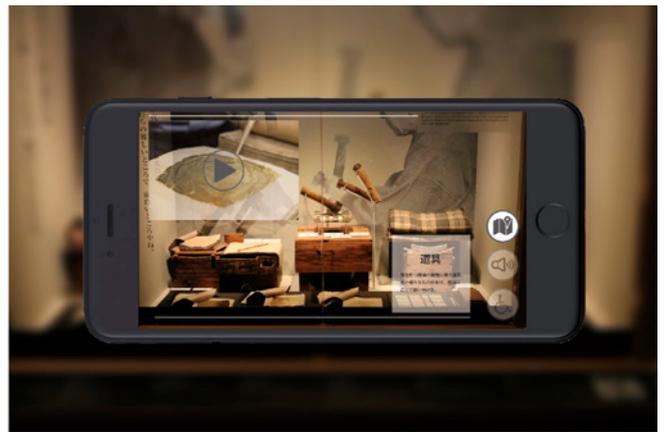
1月18日 金沢美大で
オリエンテーション
1月24日 調査、デザイン検討
1月27日 ネーミング・アイデア検討
5月9日 ネーミングからデザインラフ
アイデア選考、
詳細ブラッシュアップ
5月10日 ラフデザイン打ち合わせ
3案から1案に絞り
ブラッシュアップ
7月4日 最終デザイン修正
方向性確認打ち合わせ
7月20日 デザイン詳細修正
打ち合わせ1
7月25日 デザイン詳細修正
打ち合わせ2
8月18日 デザイン詳細修正
打ち合わせ3
9月4日 最終デザイン納品



101

これまでのUDガイド(触地図、スケールモデル、ハンディーガイド)は触感や音声によって機能を補完し理解を深めるものが多く存在するが、私たちが考えるUDガイドとはセンシティブユーザーのサポートはもちろん、すべてのユーザーが施設や観光についての情報を分かりやすく理解するためのツールと位置づけた。学生とUD研修、フィールド調査とデザインプロセスを実践することで、誰もが愉しめ理解が深まるUDガイドを企画立案し、センシティブな垣根を意識させない新しいコミュニケーションを開発するデザイン研究を行った。

ユニバーサルデザインを使った 観光案内ツールの開発



【委託者】
株式会社DNPコミュニケーションデザイン

【期間】
2017年5月～2018年3月

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻
畝野 裕司 教授 主担当 デザイン科環境デザイン専攻

【参加学生】
山本 莉子 環境デザイン専攻3年
和田 実日子 環境デザイン専攻3年
龍野 朝子 環境デザイン専攻2年
頼安 礼市 環境デザイン専攻2年

【開発日程】

2017年

- 5月9日 産学連携のオリエンテーション
- 6月14日 第1回UD研修
- 6月15日 UDワークショップ(プレスト)
- 7月8日 UDiデザインワークショップ「まち歩きからUDを感じ、考え、発想する」参加
- 7月10日 第2回UD研修
- 8月31日 金沢市立安江金箔工芸館センシティブユーザーとの調査
- 11月6日 加賀本多博物館、成巽閣、金沢蓄音器館、金沢文芸館他の施設調査
- 12月19日 DNP 常務にむけた中間プレゼンテーション

2018年

- 1月16日 最終プレゼンテーションへの打ち合わせ
- 2月8日 第3回UD研修
- 3月16日 最終プレゼンテーション



プレゼンテーション



本学の製品デザイン専攻3年14名が「Internet of Things (以下IoT)」をテーマに取り組んだプロジェクト。プロジェクトは3つのグループに分かれ、それぞれにプロのデザイナー(倉本仁氏、鈴木啓太氏、北川大輔氏)がメンバーとして加わる。成果発表会は東京の六本木にあるAXISギャラリーで行った。

また、IoTに関連する技術を持ったメーカーも複数参加して頂き、その技術を踏まえてIoT商品を開発した。最終的には、+Styleのプラットフォームを活用して商品化を目指した。

企業とプロのデザイナーを交えた 新しい授業の枠組みによる IoT 商品開発研究



AXIS ギャラリー展示



大学でのプレゼンテーション

【委託者】

ソフトバンク株式会社「+style」

【期間】

2017年4月 - 2018年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

河崎 圭吾 教授 デザイン科製品デザイン専攻
稲垣 健志 講師 一般教育等

【参加学生】

大石 まなみ 製品デザイン専攻3年
大橋 康平 製品デザイン専攻3年
田中 伶実 製品デザイン専攻3年
陳 雨洲 製品デザイン専攻3年
都筑 堯志 製品デザイン専攻3年
當宮 楽捺 製品デザイン専攻3年
西村 正之 製品デザイン専攻3年
福田 理紗 製品デザイン専攻3年
北條 英 製品デザイン専攻3年
堀美 未湖 製品デザイン専攻3年
松村 圭介 製品デザイン専攻3年
森 琴音 製品デザイン専攻3年
山村 有史 製品デザイン専攻3年
吉戸 妙織 製品デザイン専攻3年

【開発日程】

2017年

11月2日 - 4日
六本木 AXIS ギャラリーで
展示



AXIS ギャラリーでのプレゼンテーション



AXIS ギャラリーでのプレゼンテーション

103

未来の車両内装（センターゾーン）から考える 新アイテムの提案



[委託者]

小島プレス工業株式会社

[期間]

2017年5月—12月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻
北村 賢哉 准教授 デザイン科環境デザイン専攻
寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

[参加学生]

小島 弘嵩 製品デザイン専攻3年
橋川 裕貴 製品デザイン専攻3年
林 恒太郎 製品デザイン専攻3年
藤川 紘生 製品デザイン専攻4年
飯島 泰昭 製品デザイン専攻4年
大河内 悠 製品デザイン専攻4年
小宮山 拓末 製品デザイン専攻4年
時間 翔太郎 製品デザイン専攻4年
長谷川 尚実 製品デザイン専攻4年
城寶 俊亮 環境デザイン専攻4年
高井良 未波 環境デザイン専攻4年
保井 康祐 大学院製品デザインコース1年

小島プレス工業との産学連携は今回で4回目。2020年頃の時代背景を前提に、それぞれの車型に合わせた世界観に沿った自動車内装における機能部品の提案を、学生それぞれのコンセプトで研究デザインすることが求められた。

自動車の様々な使用シーンを考え、ユーザーの行動を調査し、それに合った車型を設定する。そして、車内での動作や要求等を仮説を立ててアイデア展開した。より使いやすい機能部品に落とし込む作業は、車内という限られたスペースや大きさ等リアリティある設定が必要で、1/1のラフモデルによる実験と検証を重ね、最終提案にまとめた。

最終提案はセンターコンソールを中心としたバリエーションのあるデザイン研究となり、商品化に向けた刺激として好評な結果となった。



オリエンテーション

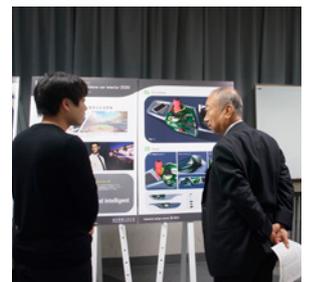


工場見学

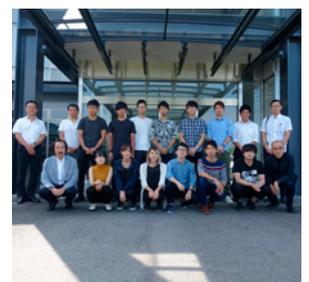
[開発日程]

2017年

5月19日 オリエンテーション
概要、デザイン条件等説明
6月13日 調査発表会
2020年の世界観、車両トレンド
7月20日 コンセプトデザイン発表
8月9日・10日 中間発表、工場見学
9月21日 定例ミーティング
11月10日 定例ミーティング
12月4日 最終発表会
12月14日 社長へのプレゼンテーション



社長講評



小島プレス工業前にて

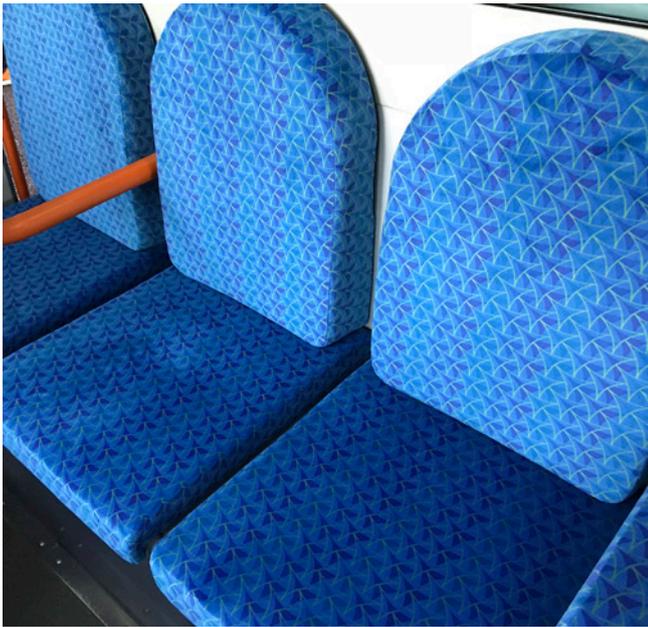
104

バスシート生地用テキスタイルデザイン開発

「産地企業によるバスシート生地供給プロジェクト」における製品のデザイン(テキスタイルデザインと販促ツールのプロデュース)を産学連携で協力した。この生地は、北陸の生産工場が連携して開発した、安価で高品質(高機能、高感性)なシート地で、病院レベルの抗菌防臭機能とオプションで消臭加工と汚れ除去性、滑り止め等を持つ大変優れた素材で、これからの市場拡大を目指して取り組んだ。

質の高い数多くのアイデアが提案され、10案が商品化されることになった。販促用のパッケージデザインも一新し、見やすくセンスの良いツールが完成した。

今回、名越菜由花さんのデザインが、金沢のふらっとバスに採用され、シートとして完成したことを記念して、美大でセレモニーを開催し広く市民に公開した。



オリエンテーション



小松精練見学

[委託者]

小松精練株式会社

[期間]

2017年4月—2018年1月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

[参加学生]

林 恒太郎 製品デザイン専攻 3年
 小島 弘嵩 製品デザイン専攻 3年
 橋川 裕貴 製品デザイン専攻 3年
 藤川 紘生 製品デザイン専攻 3年
 芦田 佳子 視覚デザイン専攻 4年
 柴田 竜 視覚デザイン専攻 4年
 島田 彩 視覚デザイン専攻 4年
 名越 菜由花 視覚デザイン専攻 4年
 浅見 日向子 製品デザイン専攻 4年
 越智 梓 製品デザイン専攻 4年
 小宮山 拓未 製品デザイン専攻 4年
 清水 翔太 製品デザイン専攻 4年
 長谷川 尚実 製品デザイン専攻 4年
 東元 誠 製品デザイン専攻 4年
 平井 七海 製品デザイン専攻 4年
 松浦 克彦 製品デザイン専攻 4年
 山田 竜也 製品デザイン専攻 4年
 山本 貫太郎 製品デザイン専攻 4年
 山本 茉優子 製品デザイン専攻 4年

[開発日程]

2017年

4月19日 オリエンテーション
 概要、デザイン条件等説明
 6月14日 アイデア発表会
 小松精練ショールーム見学
 9月 最終案の決定報告

2018年

1月23日 ふらっとバス
 NEW シート完成セレモニー
 園児による乗車体験



プレゼンテーション



フラットバス

「産地企業によるバスシート生地供給プロジェクト」で制作したシートデザインの特徴を営業担当者が説明しやすいように、カタログ各ページのレイアウト変更、情報の整理などをおこない、短期間で試作提案から基本デザインフォーマット作成までの対応をした。現在、販促ツールとして使用されている。

小松精練バスシートカタログデザイン制作



【委託者】

小松精練株式会社

【期間】

2017年6月—10月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

芦田 佳子 視覚デザイン専攻 4年
柴田 竜 視覚デザイン専攻 4年

【開発日程】

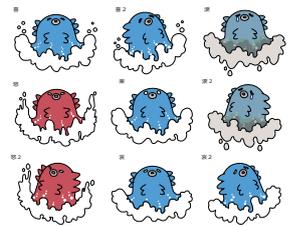
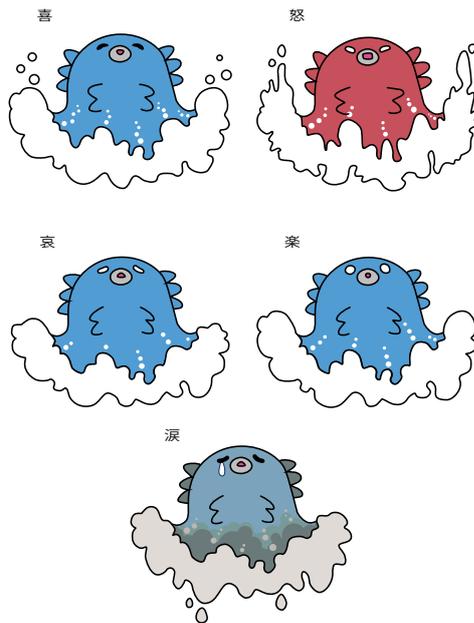
2017年

6月 オリエンテーション
7月 カタログケースデザイン案検討
8月 カタログケースデザイン案修正、データ作成
10月 カタログケース完成



石川テレビ放送株式会社が、石川県実行委員会事務局として実施している公益財団法人日本財団が推進する助成プログラム「海と日本プロジェクト」に関連し、石川の海を象徴する魚介類等をモチーフとした「海のキャラクター」のデザイン制作を依頼される。視覚デザイン2年生有志から、デザイン案を募集し、「なまこ」をモチーフにしたキャラクター案が採用された。採用後は、フェイスブックなどSNSを中心に活用展開されている。

石川テレビキャラクター制作



【委託者】

石川テレビ放送株式会社

【期間】

2017年6月—7月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

占部 愛英 視覚デザイン専攻2年
 石田 文音 視覚デザイン専攻2年
 梅野 恵 視覚デザイン専攻2年
 大賀 愛子 視覚デザイン専攻2年
 岡川 由依 視覚デザイン専攻2年
 河崎 ひかり 視覚デザイン専攻2年
 兒島 祐衣 視覚デザイン専攻2年
 小森 晴香 視覚デザイン専攻2年
 佐々木 琴音 視覚デザイン専攻2年
 佐藤 桃子 視覚デザイン専攻2年
 塩木 亜弥 視覚デザイン専攻2年
 竹内 彰太郎 視覚デザイン専攻2年
 坪田 成未 視覚デザイン専攻2年
 新田川 大樹 視覚デザイン専攻2年
 水野 理沙 視覚デザイン専攻2年

【開発日程】

2017年

6月初旬 オリエンテーション
 6月下旬 キャラクター案提案
 7月 キャラクター最終案決定



開館2周年を迎えた三井アウトレットパーク北陸小矢部のさらなる発展を目指し、学生チームにより斬新なコンセプトでハロウィンのイベントの館内装飾とインスタウォールを企画デザインする。また、イベントに合わせて子供たちに向けたワークショップを開催することにより、地域の来場者と交流を深め、北陸のアウトレットブランドとしての価値を高め、集客につなげる。

SNS を活用したハロウィンイベント空間とワークショップのデザイン研究



【委託者】

株式会社アイワット

【期間】

2017年7月～10月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻
 畝野 裕司 教授 主担当
 デザイン科環境デザイン専攻

【参加学生】

長谷川 晶子 環境デザイン専攻3年
 山本 莉子 環境デザイン専攻3年
 加藤 ころこ 環境デザイン専攻2年
 山本 菜央 環境デザイン専攻2年
 木下 侑樹 環境デザイン専攻1年
 中田 里桜 環境デザイン専攻1年

【開発日程】

2017年

7月24日 現地オリエンテーション
 8月15日 デザイン中間報告会
 9月3日 デザイン案
 プレゼンテーション
 9月15日 缶バッジ・ワークショップ
 デザイン提出
 10月21日・22日
 現地ワークショップ
 10月28日・29日
 現地ワークショップ



香林坊東急スクエアにおける駐輪スペースの研究



金沢市の中心部にある香林坊東急スクエアには、建築当初からある3箇所の駐輪場のうち、せせらぎ通り沿いの2箇所が商業施設としての環境向上を目的に撤去された。残された1箇所の駐輪場は、通りから見えにくい箇所にあり、利用が高まらない状態である。また、これまで駐輪できた箇所では迷惑駐輪が増え管理者の大きな負担となっている。そこで景観整備や駐輪マナーの向上を念頭に、駐輪整除を促すためのサインを含め、総合的な空間デザインの研究を進めた。

最初に現況を観察し、問題点の把握と参加学生全員での情報共有を行った。参加学生の多くが他都市出身者のため、出身地方における駐輪場事例を集め、それらが機能的か、また景観の向上に有効か検討を行った。

これらを踏まえアイデアの段階、プライマリーデザインの段階、改善案提示の段階の3回にわたり検討を進め、委託者側のデザイナーや管理者とともに意見交換を行った。その結果、現場で利用頻度の少ない駐輪場の存在を周知させるためのサインデザイン、近辺への来訪者を駐輪場へ誘導する仕掛け、駐輪場自体の環境を向上しその場所に自転車を駐めたくなくなるデザイン、駐輪できない場所を用水を活用した休憩できる空間とするデザインが示された。これらは、新たな店舗が入る際に実現され、参加学生は施工現場の見学を行うこととなっている。空間デザインの原寸現物に触れる貴重な機会が学生に与えられた。

[委託者]

香林坊第一開発ビル株式会社

[期間]

2016年11月—2017年7月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

鈿 隆弘 教授 デザイン科環境デザイン専攻

[参加学生]

大山 り葉 環境デザイン専攻2年
 北川 真由香 環境デザイン専攻2年
 橋本 康志明 環境デザイン専攻2年
 古谷 早希 環境デザイン専攻2年
 古山 千穂 環境デザイン専攻2年
 三宅 亜里彩 環境デザイン専攻2年
 森 晴香 環境デザイン専攻2年
 山本 莉子 環境デザイン専攻2年

[開発日程]

2016年

11月15日 第1回ミーティング
 金沢美術工芸大学にて
 オリエンテーション

2017年

2月22日 第2回ミーティング
 金沢美術工芸大学にて
 アイデア段階のプレゼンテーションと意見交換

5月9日 第3回ミーティング
 金沢美術工芸大学にて
 プレリミナリー案のプレゼンテーションと意見交換

7月6日 最終案プレゼンテーション
 金沢美術工芸大学 企画情報室にて
 参加者：香林坊第一開発ビル株式会社、
 本学担当教員および参加学生

金沢市環境局温暖化対策室が開催するイベントに視覚デザイン1年生がダンボール作品を金沢駅もてなしドーム地下イベント広場で展示した。今年度は開催日が美大祭と重複し学生が参加できず、ワークショップは開催できなかったが、展示作品は市民はもとより新幹線等で来られる国内外の方々に、近年、特に著しい地球温暖化を塾考する機会を与え続けている。

かなざわエコフェスタ 2017 出展



展示作品



展示作品

【委託者】

ヨシダ宣伝株式会社

【期間】

2017年7月～12月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

工藤 俊之 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

【参加学生】

乾 真琳	視覚デザイン専攻1年
岡崎 慧	視覚デザイン専攻1年
奥野 凜	視覚デザイン専攻1年
喜多 美友	視覚デザイン専攻1年
桐本 清花	視覚デザイン専攻1年
日下部 亜季	視覚デザイン専攻1年
栗本 恵里	視覚デザイン専攻1年
小林 寛治	視覚デザイン専攻1年
佐藤 菜七星	視覚デザイン専攻1年
澤口 有里	視覚デザイン専攻1年
清水 一政	視覚デザイン専攻1年
東海林 充希	視覚デザイン専攻1年
砂川 友希	視覚デザイン専攻1年
竹村 美紅	視覚デザイン専攻1年
中条 紗英子	視覚デザイン専攻1年
中多 礼美	視覚デザイン専攻1年
原 夏恋	視覚デザイン専攻1年
本田 達也	視覚デザイン専攻1年
芳田 実霞	視覚デザイン専攻1年
渡辺 菜緒	視覚デザイン専攻1年

【開発日程】

2017年

7月25日～8月4日 制作期間
8月5日～9日

アートベース石引にて
プレ展示

11月4日 搬入
金沢駅もてなしドーム
地下イベント広場

11月5日 展示
展示後、戸室リサイクルプラ
ザへ移行のため搬出



展示作品



展示作品と遊ぶ親子

110

卒業制作作品「施設向け歩行車 Snuggle」の製品化

2016 年度製品デザイン専攻卒業生の馬場菜摘さんの卒業制作を金沢市の「新製品開発・改良促進事業（産学連携コース）」助成金を得て、スギモト産業株式会社、金沢大学医薬保健研究域と共に製品化を目指している。

医療現場のデザインは、人々が心地よく暮らせるリビングルームのようなインテリア設計がトレンドとなっているが、使用されている歩行車は旧来の武骨なデザインで現場から浮いた存在となっており、機能面においても以下の問題点がある。

- 椅子から立ち上がり歩行車へ移る動作が考慮されていない
- 高さ調整に手間がかかる
- 収納する際に場所を取る
- 利用者、補助者への配慮に欠けている

以上を解決し、以下の目標を加えた歩行車を開発する。

- 利用者、補助者の両者にとって安全で快適である
- すぐ使ってみたくなる魅力を備えた外観を備える
- 環境に馴染む・環境に配慮する
- 今後のリハビリ器具にインパクト与えるデザインの質を目指す

2 年間のプロジェクトの初年度である今年度は、臨床テストにより元設計の有効性の確認を行った。



「Snuggle 施設向け歩行車」馬場菜摘 2016 年度卒業制作



立ち上がり時の不安定さを回避するグリップ



使用キャスターの比較検討

【委託者】

スギモト産業株式会社

【期間】

2017 年 8 月 - 2018 年 3 月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

安島 諭 教授 デザイン科製品デザイン専攻

根来 貴成 准教授 デザイン科製品デザイン専攻

【開発日程】

2017 年

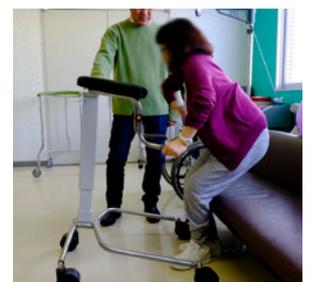
- 8月25日 キックオフミーティング
- 8月30日 知財に関する電話会議
- 9月20日 1次試作設計要件会議
- 9月-10月 1次試作設計制作
- 9月29日 国際福祉機器展 調査
- 10月18日 金沢赤十字病院にて
1次試作による臨床テスト
- 10月31日 臨床結果報告
- 11月14日 2次試作設計要件会議
- 11月-12月
2次試作設計制作

2018 年

- 1月12日 金沢赤十字病院にて
2次試作による臨床テスト
- 3月08日 3次試作設計要件会議
- 3月- 3次試作設計



金沢赤十字病院での一次試作によるキャスター比較臨床テスト



金沢赤十字病院での二次試作による寸法検討臨床テスト

111

ANA クラウンプラザホテル金沢
クリスマスオーナメント制作

[委託者]

ANA クラウンプラザホテル金沢

[期間]

2014年10月—12月

[研究体制]

プロジェクト型

[担当教員]

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻
浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻
北村 賢哉 准教授 デザイン科環境デザイン専攻

[参加学生]

乾 眞琳	岡崎 慧	奥野 凜
喜多 美友	桐本 清花	日下部 亜季
栗本 恵里	小林 寛治	佐藤菜 七星
澤口 有里	清水 一政	東海林 充希
砂川 友希	竹村 美紅	中条 紗英子
中多 礼美	原 夏恋	本田 達也
芳田 実霞	渡辺 菜緒	

以上 視覚デザイン専攻1年

桑嶋 達彦	澤本 泉美	篠崎 翔平
菅沼 佑哉	高木 梨帆	高田 梨央
高辻 夏	富田 文香	中園 悠佳
中野 陽太	野副 双葉	水野 和真
安武 詩織	吉武 信太郎	和田 さつき

以上 製品デザイン専攻1年

足立 百花	荒木 拓都	飯山 春風
伊藤 唯	宇井 千裕	河野 里咲
木下 侑樹	下尾 春花	高田 陸央
通山 ひなの	中田 里桜	二井矢 匠吾
西澤 歩	野村 夏月	広川 真衣
本多 侯一朗	牧野 利香	松野 愛以
餅田 瞳	柳原 菜々海	

以上 環境デザイン専攻1年

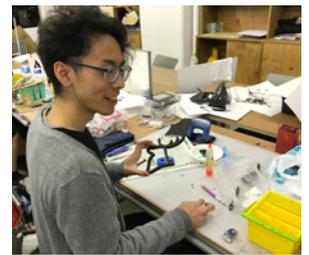
毎年 ANA クラウンプラザホテル金沢がロビーに設置する大クリスマスツリーは、金沢のクリスマスシーズンの風物詩になっている。昨年に続き金沢美大生がオーナメント制作に協力し、クリスマスツリーを華やかに飾り付けた。

サンタクロースや雪ダルマを模ったオーナメントの原型は大学院デザイン専攻の学生がデザイン。これを合計100個制作し、学部1年生約60人がユニークな感性を發揮して1個1個オリジナルのデザインを施した。バイクでプレゼントを配るサンタクロース、毛糸で作られた雪ダルマなど、どれも楽しく、美しい作品が揃い、ホテル客や来場者の目を楽しませた。

オーナメント1個につき「ドネーション」として、1,000円の寄付を募っており、展示を終えた後、オーナメントと寄付金を石川県ユネスコ協会に贈り、活動に役立ててもらった。

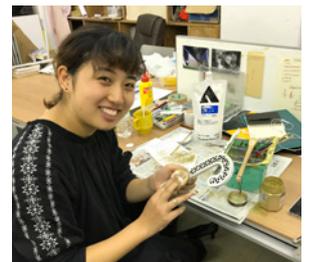


フチオーナメント



制作風景

秋山 朝子	大学院修士課程 製品デザイン専攻2年
張 庭瑞	大学院修士課程 製品デザイン専攻2年
村井 菜月	大学院修士課程 製品デザイン専攻2年
保井 康祐	大学院修士課程 製品デザイン専攻1年



制作風景

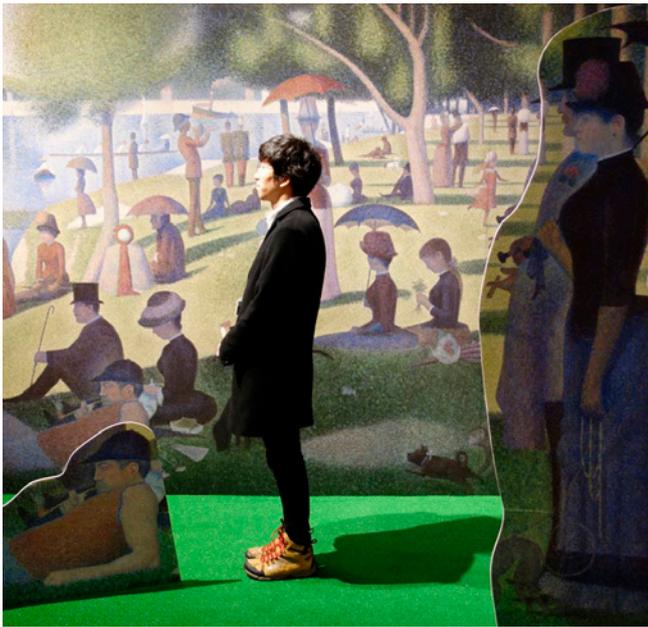
[開発日程]

2017年	
10月	大学院生による原型制作
10月	参加学生への説明会と原型配布
11月	100作品完成
11月	ANA クラウンプラザホテル金沢へ引渡し



アートをもっと身近にするために、大日本印刷株式会社グループの提供する絵画データのアーカイブと複製原画を出力するための高精細印刷技術のプリモアートを活用し、本学の学生がこれまでになかった新しい美術体験価値を立案した。また、美術作品の「楽しみ方」をわかりやすく伝える展示空間デザインを提案し、新しい形の複製画展「AEON MALL ART SCENE 見る名画感じるアート楽しむ美術展」をイオンモール新小松にて開催。印象派を中心とした絵画の複製画や音を奏でる絵画等合計 30 点を展示した。

「AEON MALL ART SCENE 見る名画 感じるアート 楽しむ美術展」の 空間表現研究



複製原画による美術体験



展示空間



複製原画による美術体験

【委託者】

株式会社DNPコミュニケーションデザイン

【期間】

2017年10月—2018年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

山崎 剛 教授 美術科芸術学専攻

畝野 裕司 教授 主担当
デザイン科環境デザイン専攻

【参加学生】

田中 夏実 環境デザイン専攻2年

藤原 なつき 環境デザイン専攻2年

山本 菜央 環境デザイン専攻2年

梅野 恵 視覚デザイン専攻2年

岡川 由依 視覚デザイン専攻2年

新田川 大樹 視覚デザイン専攻2年

添野 沙羅 芸術学3年

花補佐 真穂 芸術学3年

【開発日程】

2017年

- 10月23日 キックオフ打ち合わせ
- 11月17日 学生オリエンテーション
- 12月21日 中間デザイン報告会
- 12月25日 イオンモール新小松
会場視察

2018年

- 1月16日 空間アイデア
詳細デザイン確認打ち合わせ
- 2月22日 展覧会オープニング出席
- 2月24日・25日
会場にてプレゼンテーション
- 3月3日・4日
会場にてプレゼンテーション



複製原画による美術体験



プレゼンテーション

113

次世代の明かりとも言われる有機 EL 照明パネルを使用し、その特徴を生かしたポータブル性が高くコンパクトな照明器具の研究提案を行なった。演色性が高く、厚さ 1mm の面発光体は、LED と違った特徴をもっている。本プロジェクトは、従来の光源では実現できないデザインと使われ方、新しい市場を開拓するニーズの高い製品、具体的な製品化を目指しコストバランス考慮することを目標とし遂行した。学生 18 名が取り組み、3 名のアイデアが最終選考に残り、そのうちの実現可能なものを今後製品化に向け検討する。

有機 EL 照明パネルを使用した ポータブルライティングのデザイン研究



最終選考作品 3 案 (左上、右上、左下)



アイデア発案



デザイン検討

【委託者】

株式会社カネカ

【期間】

2017 年 12 月 - 2018 年 3 月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

根来 貴成 准教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

浮洲 直秀	製品デザイン専攻 2 年
乙部 那未	製品デザイン専攻 2 年
川村 美月	製品デザイン専攻 2 年
後藤 はなこ	製品デザイン専攻 2 年
坂上 立朗	製品デザイン専攻 2 年
重松 将太	製品デザイン専攻 2 年
高田 えみ	製品デザイン専攻 2 年
高橋 大生	製品デザイン専攻 2 年
竹本 頌梧	製品デザイン専攻 2 年
田中 夢大	製品デザイン専攻 2 年
中村 有希	製品デザイン専攻 2 年
瀨野 青空	製品デザイン専攻 2 年
番匠 香純	製品デザイン専攻 2 年
平田 陸	製品デザイン専攻 2 年
細川 岳	製品デザイン専攻 2 年
松本 姫佳	製品デザイン専攻 2 年
宮島 望	製品デザイン専攻 2 年
山本 恵	製品デザイン専攻 2 年

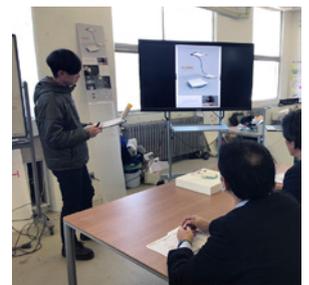
【開発日程】

2017 年

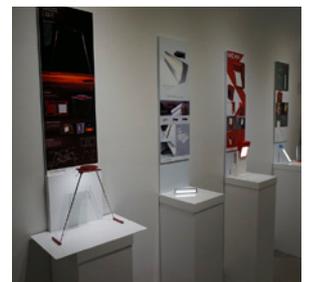
12 月 7 日 オリエンテーション
12 月 18 日 調査報告月アイデア発表

2018 年

1 月 10 日 中間プレゼンテーション
検証モデル発表
2 月 2 日 最終プレゼンテーション
2 月 5 日 - 8 日 学内展示
3 月 8 日 選考作品
製品化打ち合わせ、
ショールーム見学
3 月 29 日 選考作品
最終プレゼンテーション



プロトタイプ発案



学内展示



A02 >> H01

A02	北陸銀行 ウィンドウ作品展示	36
B02	問×美 2017	37
E02	地元企業との就職情報交換会	38
F02	奥能登国際芸術祭 金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム [スズプロ]	39
G02	志賀町・絵画塾 —美術教育による地域連携—	40
H01	地域活動用 T シャツデザインの制作	41

A02

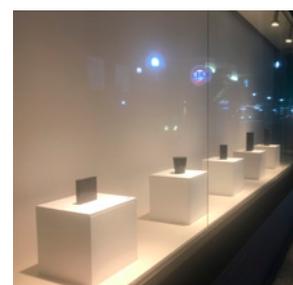
本学と北陸銀行は平成22年度に連携協定を締結し、若手作家の育成等を目的に支店の一部をギャラリーとして活用している。

連携協定に基づき、学生が店舗空間を積極的に活用する企画・展示提案を行っている。小さなギャラリーとして地元に着し、商店街の方々と、街を歩く人々に親しまれている。

北陸銀行 ウィンドウ作品展示



個展「団体エゴ様」 大竹 祐貴



個展「Supermarket」 丹羽 啓



個展「鬼ぼっち」 大西 玲衣

【委託者】

株式会社北陸銀行

【期間】

2017年6月 - 2018年3月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

芝山 昌也 准教授 美術科彫刻専攻

青木 千絵 助教 工芸科

【参加学生】

丹羽 啓

大学院修士課程彫刻専攻1年

大竹 祐貴

大学院修士課程彫刻専攻1年

大西 玲衣

大学院修士課程彫刻専攻1年

宇田川 彩

工芸科4年

【展示日程】

2017年 - 2018年

丹羽 啓 2017年6月1日 - 9月27日

大竹 祐貴 2017年9月27日 - 11月30日

大西 玲衣 2017年11月30日 - 2018年2月14日

宇田川 彩 2018年2月15日 - 3月15日



個展「Goodness of life」 宇田川 彩

B02

問×美 2017

協同組合金沢問屋センター設立 50 周年を記念し、起絵より想起された「待庵」から多様な対話を生み出し、対峙する異質なものが融合する実験の場を企画した。

<問屋と芸術>の対話

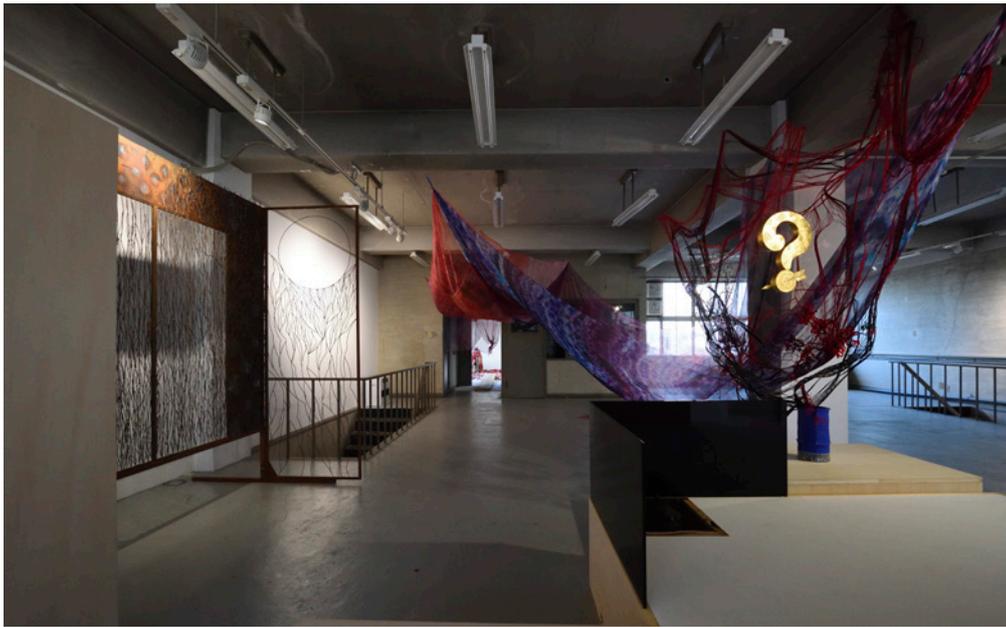
作家と工業製品をつなぎ、経済優先の問屋と感性優先の芸術の融合をめざした。問屋町で製造、または扱っている商品と各作家が対峙し生み出された作品が、問屋まちスタジオ「待庵」の空間構成が要素となることで、作家による商品、製品との対話が生まれた。

<人とひと>の対話

対話を「もの」の象徴としておこし絵茶室を、同様に「こと」の象徴として茶会を設定。茶会により人が繋がることで、問屋まちスタジオをアートファクトリーとする構想において、組織づくりやネットワークづくりが垣間見える場となった。

<工芸と建築>の対話

かつて工芸的であった建築における芸術的職人技が輝いた時代。機能的で装飾を排した意匠や合理的で手業による設えを排した近代以降の建築が失ってきたものであった。ここでは、もう一度、建築と工芸・アートが対話する実験の場とした。



問×美 2017 昼間の展示風景



夜間の展示風景



アーカイブ展とアートフェアの展示風景

[委託者]

問屋まちアートファクトリープロジェクト
実行委員会

[会期]

2017年 11月11日 — 11月19日

[研究体制]

協同組合金沢問屋センター、金沢美術工芸大学、認定 NPO 法人金沢アートグミとの連携

[担当教員]

坂本 英之 教授 デザイン科環境デザイン専攻
真鍋 淳朗 教授 美術科油画専攻
中瀬 康志 教授 美術科彫刻専攻

[参加作家]

石森 良隆 木工作家
伊能 一三 漆作家
岩井 美佳 染織作家・本学修了生
戸出 雅彦 陶芸家・本学卒業生
田中 信行 本学教員
中瀬 康志 本学教員
真鍋 淳朗 本学教員
宮崎 匠 金工作家
坂本 英之 本学教員・ディレクション

[素材・技術提供]

石川トヨペット株式会社金沢西店
株式会社アイネックス
株式会社コシハラ
株式会社東山商会
株式会社ほくつう
株式会社ヤギコーポレーション
川崎株式会社
泰和ゴム興業株式会社
塔島株式会社
北日商事株式会社
有限会社ネーミングこしの
有限会社吉野利工具
(五十音順)

[助成]

いしかわ県民文化振興基金

[ダンス公演]

いまるまる

[茶会点前]

山本 宗茂 裏千家茶道教場主宰

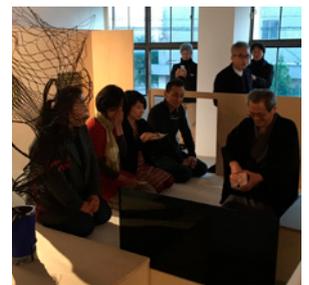
[チェロ演奏]

富田 祥

[展示日程]

2017年

4月 プロジェクトの方針を決定
5月 参加作家との打合せを開始
問屋団地の12の企業から素材提供を受ける
6月—11月 作品制作
11月11日 展覧会開催 ダンス公演
11月19日 チェロ演奏会 展覧会閉幕



おこし絵茶室での茶会



チェロ演奏会

E02

金沢市と学生の若者定着の促進等を目的とする連携協定を具体化するため、将来の就職を見据えた意見交換を行う場として、地元企業との就職情報交換会を開催し、就職活動報告会では、デザイン科、美術科、工芸科の全専攻就職内定者から、就職活動に必要なノウハウを各自の経験から発表してもらいました。

また、交換会を契機に、関心の高い企業の理解を一層深める場として、参加頂いた企業に、1DAYインターンシップを実施して頂きました。

地元企業との就職情報交換会



[連携先]

金沢市役所

[期間]

2017年7月29日
金沢ニューグランドホテル
2018年2月3日
金沢ニューグランドホテル

[担当教員]

キャリア支援室長

寺井 剛敏 教授

キャリア支援室担当

よしだぎょうご 准教授 美術科日本画専攻

高橋 治希 准教授 美術科油画専攻

芝山 昌也 准教授 美術科彫刻専攻

山崎 剛 教授 美術科芸術学専攻

鈴木 康雄 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

安島 諭 教授 デザイン科製品デザイン専攻

北村 賢哉 准教授 デザイン科環境デザイン専攻

池田 晶一 教授 工芸科

平塚 聖子 准教授 大学院デザイン科
ファッションデザインコース

[7月29日参加企業]

(株)アイ・オー・データ機器

AMD (株)

(株)カラフルカンパニー

(株)五井建築研究所

小松精練(株)

伸晃化学(株)

高桑美術印刷(株)

津田駒工業(株)

(株)DMM.com ラボ

ナカダ(株)

ニッコー(株)

(株)橋本清文堂印刷

北陸ミサワホーム(株)

三谷産業(株)

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

金沢市役所

[2月3日参加企業]

AMD (株)

小松精練(株)

伸晃化学(株)

高桑美術印刷(株)

(株)DMM.com ラボ

ナカダ(株)

三谷産業(株)

ヨシダ宣伝(株)

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

金沢市役所



F02

奥能登国際芸術祭 金沢美術工芸大学アートプロジェクトチーム 【スズプロ】



「奥能登曼荼羅」 蔵の壁面に奥能登の森羅万象を中心に環日本海及び東アジアを俯瞰する曼荼羅図を描写

【委託者名】
奥能登国際芸術祭実行委員会

【期間】
2016年4月—

【研究体制】
プロジェクト型

【担当教員】
真鍋 淳朗 教授 美術科油画専攻
高橋 治希 准教授 美術科油画専攻
岩崎 純 准教授 美術科油画専攻
芝山 昌也 准教授 美術科彫刻専攻
池田 晶一 教授 工芸科
稲垣 健志 講師 一般教育等
中島 大河 非常勤研究助手

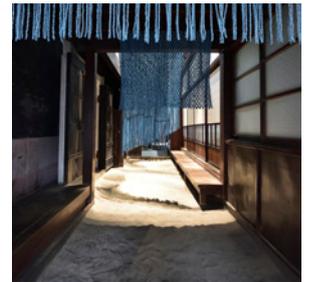
【参加学生】
伊木 さなえ 油画専攻2年
中村 清夏 油画専攻2年
野村 明日香 油画専攻2年
山本 いちご 油画専攻2年
筒井 愛子 油画専攻3年
沖田 愛有美 油画専攻4年
中桐 聡美 油画専攻4年
上原 勇希 大学院修士課程絵画専攻
油画コース1年
笹井 南海 彫刻専攻1年

皆川 嘉孝 彫刻専攻1年
大野 紗月 彫刻専攻2年
小岩井 琳太郎 彫刻専攻2年
中嶋 彩乃 彫刻専攻2年
林 穂南 彫刻専攻2年
深田 拓哉 彫刻専攻2年
水野 由羅 彫刻専攻2年
庄子 陽子 彫刻専攻3年
岡本 孝介 彫刻専攻4年
小孫 ちさと 彫刻専攻4年
松村 れん 彫刻専攻4年
丹羽 啓 大学院修士課程彫刻専攻1年
江川 真里奈 芸術学専攻3年
橋谷 いつみ 芸術学専攻3年
杉山 知里 芸術学専攻4年・学生代表
喜多 美友 視覚デザイン専攻1年
桐本 清花 視覚デザイン専攻1年
伊藤 唯 環境デザイン専攻1年
加藤 こころ 環境デザイン2年・
リーフレットデザイン
白木 裕也 大学院修士課程
環境デザイン専攻2年
成子 夏芽 大学院修士課程
環境デザイン専攻2年
村岡 ゆきの 工芸科2年
安藤 果穂 工芸科4年
笹谷 美月 工芸科4年
百歩 陽子 工芸科4年
安田 日菜子 工芸科4年

奥能登国際芸術祭に参加アーティストとして、教員と非常勤助手、及び学生の混合チームで出品した。研究メンバーの多くが珠洲で感じ取った「静謐でありながら悠長な時間の流れ」を、「静かな海流をめぐって」という制作テーマに結び付け、珠洲市飯田地区の明治期に建てられた古民家および中庭に、教員と学生が一体となってフィールドワークやワークショップを重ねて4点の作品を制作した。

作品はそれぞれ、古民家敷地内の蔵に、長い年月をかけて蓄積された膨大なモノから生み出された「いえの木」、珠洲の植生や人々の営みと大陸の歴史的関係を、蔵の木板の内張りを活かしながら、薄く和紙を張り込んで描かれた「奥能登曼荼羅」、蔵内に残されていた漁網用の糸に藍染めを行い、海に潜る感覚を暖簾に重ね合わせた「家に潜る」、古民家の広大な敷地を一つの風景と見なしながらも、珠洲の方々における古民家に対する思いをお米に結びつけて行った「こめのにわ」等、敷地の内に残された歴史・生活をそれぞれが等身大で読み込み表現に昇華された。

会期中「スズプロ作品」には、19,084人の方々を訪れた。これは、出品作品36作品の中で、塩田千春氏「時を運ぶ船」に次ぐ2番目の多さであった。また現在も商店街と連携したワークショップ等、アートを通じて珠洲の様々な活動に参加している。



「家に潜る」蔵に残された漁網用の糸から作った組紐で暖簾を制作。海に潜る感覚で家の奥へと導いた



「こめのこと」「あえのこと」の文化的背景を学び、実際に稲作を行いながらワークショップとして発表

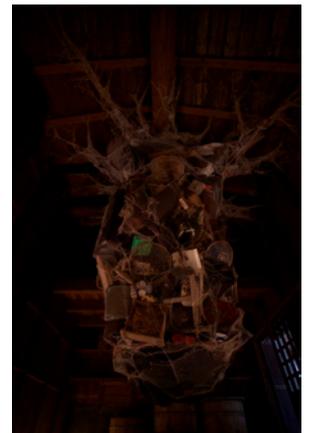
【助成】
公益社団法人 大学コンソーシアム石川
公益財団法人 三谷研究開発支援財団

【協賛】
ホルベイン画材株式会社

【協力】
石川県文化財保存修復工房
株式会社灯工舎
株式会社山本内装巧房
北風八幡(こめのにわ監修)
手染めや椿姫 落合紅

【開発日程】
2016年
珠洲市内フィールド調査、古民家清掃

2017年
1月 最終プラン提出
2月-3月 出品決定・サンプル作成
4月 中庭内田んぼ作り・珠洲宿舍整備
5月-9月 田植え、作品制作開始
珠洲現地ワークショップ開催(複数回)
6月-7月 主に金沢大内での制作
8月 主に珠洲での制作(合宿形式)
9月-10月 芸術祭期間中作品解説・稲刈り(ご飯会ワークショップ)
11月- 報告書作成



「いえの木」 蔵の中に残された大量の物を樹木状に組み上げ、時間の蓄積と地域の豊かさ・厳しさを表現

G02

志賀町・絵画塾 —美術教育による地域連携—

「絵画塾」は金沢美大の教員・学生が志賀高校を会場として中・高校生に絵画指導を行うもので、志賀高校の活性化と地域へのアピールを目的として企画された。平成26年に始まったこの中高大の連携事業は、昨年度「志賀町との連携に関する協定」の一環として位置付けられ、現在に至っている。

今年度は6月から11月まで月1回（土曜日）、計6回実施し、参加者は昨年度と同様22名（中学生が20名、高校生が2名）であった。参加者の強い意欲に応えるため美大ならではの専門性を織り込みながらも、あくまでも分かりやすい課題設定を心掛けた。指導には各回2名の美大生が当たり、その親しみのある丁寧な対応は毎回好評であった。また学生自身も、美術や教育について改めて感じるが多かったようである。

志賀高校への進学者増という直接的成果も期待されるが、より重要なのは志賀高校が様々な機関との連携により、地域に於ける教育・文化活動の拠点として根差すことである。また、美大としても今後より多くの市民や子供達により質の高い美的体験を提供することが求められている。次年度以降もこの「絵画塾」をより充実させていくとともに、これを一つのモデルケースとして他の活動へと展開させたい。



授業風景



生徒作品

【委託者】

志賀町教育委員会

【期間】

2017年6月～11月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

大森 啓 教授 美術科油画専攻

佐藤 俊介 教授 美術科日本画専攻

【参加学生】

菊池 美咲 修士課程絵画専攻油画コース1年

北本 ちなみ 修士課程絵画専攻油画コース1年

谷本 梢 修士課程絵画専攻油画コース1年

石崎 百合子 修士課程絵画専攻油画コース1年

加連 衣里子 修士課程絵画専攻油画コース1年

榮長 義雄 修士課程絵画専攻油画コース1年

塩崎 泰介 修士課程絵画専攻日本画コース1年

北川 由紀恵 教務美習助手・本学卒業、修了生

【実施日程】

2017年

6月24日 第1回 「鉛筆デッサン」
形の捉え方の基本を身に付ける

7月22日 第2回 「水彩写生」
形・明暗・色を分けて捉える
考え方を学ぶ

8月7日 第3回 「木炭デッサン」＋
美大見学
石膏像・形のポイントを押さ
える

9月23日 第4回 「水彩イメージ画」
偶然できた色の美しさを利用
する

10月21日 第5回 「細密描写」
細部観察と描写によって対象
を理解する

11月12日 第6回 「付け立て」
墨による表現で日本画的な世
界観を学ぶ



授業風景



生徒作品

H01

北國銀行と金沢美術工芸大学は「教育・研究の推進並びに地域社会の発展・活性化及び社会を担う人材の育成・交流に寄与すること」を目的として、2010年に包括連携協定を締結した。今回のTシャツデザイン募集は、この連携協定に基づく企画として進められ、視覚デザイン専攻、製品デザイン専攻2年生有志からデザイン案を募集し、優秀賞2点、特別賞1点が選ばれました。話題性に富み、斬新なデザインTシャツを、行員の方々が街中で着用することで、採用された学生の自信にもなり、銀行のイメージアップになってくれると期待している。

地域活動用Tシャツデザインの制作



「優秀賞」の石川莉夏子



「優秀賞」の山越彩夏

【委託者】

北國銀行 広報課

【期間】

2016年12月—2017年4月

【研究体制】

プロジェクト型

【担当教員】

寺井 剛敏 教授 デザイン科視覚デザイン専攻

浅野 隆 教授 デザイン科製品デザイン専攻

【参加学生】

石川 莉夏子 視覚デザイン専攻3年

山越 彩夏 視覚デザイン専攻3年

小林 莉子 視覚デザイン専攻3年

笠原 淳史 視覚デザイン専攻3年

中村 直人 視覚デザイン専攻3年

林 恒太郎 製品デザイン専攻3年

【実施日程】

2016年

12月 オリエンテーション

2017年

1月 デザイン案提案、

2月 最終6案絞込

3月 最終案決定、Tシャツ製作

4月 Tシャツ完成



「特別賞」の小林莉子



[2017年度 社会連携センター会議]

社会連携担当理事 ———— 寺井 剛敏
地域連携部門長 ———— 河崎 圭吾
産学連携部門長 ———— 浅野 隆
知財管理部門長 ———— 村中 稔
事務局長 ————— 桶田 光一

地域連携部門 ———— 河崎 圭吾
佐藤 俊介
真鍋 淳朗
芝山 昌也
工藤 俊之
坂本 英之
青木 千絵
中西 由真(事務局)

産学連携部門 ———— 浅野 隆
荒木 恵信
北村 賢哉
大高 亨
稲垣 健志
村山 祐子
宇於崎 竜介(事務局)

知財管理部門 ———— 村中 稔
鈴木 浩之
根来 貴成
原 智
高橋 明彦
加藤 謙一(事務局)

[報告書制作]

編集・アートディレクション — 野村 昌史
編集協力・版下製作 ———— 株式会社 斉藤慶デザイン研究所
印刷 ————— 株式会社 山田写真製版所
発行 ————— 公立大学法人 金沢美術工芸大学
〒920-8656
石川県金沢市小立野5丁目11番1号
TEL 076-262-3531
FAX 076-262-6594
<http://www.kanazawa-bidai.ac.jp>
発行日 ————— 2018年4月

本書の全部または一部を無断で複写・複製することを禁じます。